

**「狭山丘陵」グループ**

**事業計画書の見直し**

**西武・狭山丘陵パートナーズ**

## 目 次

### II. 事業計画

#### 2 人員配置計画等

- (3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組 27

#### 3 運営管理計画

- (1) 都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組 29
- (2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法 31
- (3) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組 33
- (4) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案 35
- (5) オリンピック・パラリンピック後も見据えた公園の魅力向上の取組 37

#### 4 施設維持管理計画

- (1) 適切な維持管理を行うための取組 39
- (2) 事故、自然災害や感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応 41
- (3) 要望やオリンピック・パラリンピック後も見据えた施設補修、施設改良への取組 43
- (4) 丘陵地特性をふまえた植生管理 45

### (3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

#### 1) 人材確保と配置の方針 ～トータルマネジメント力と専門力のある人材の配置～

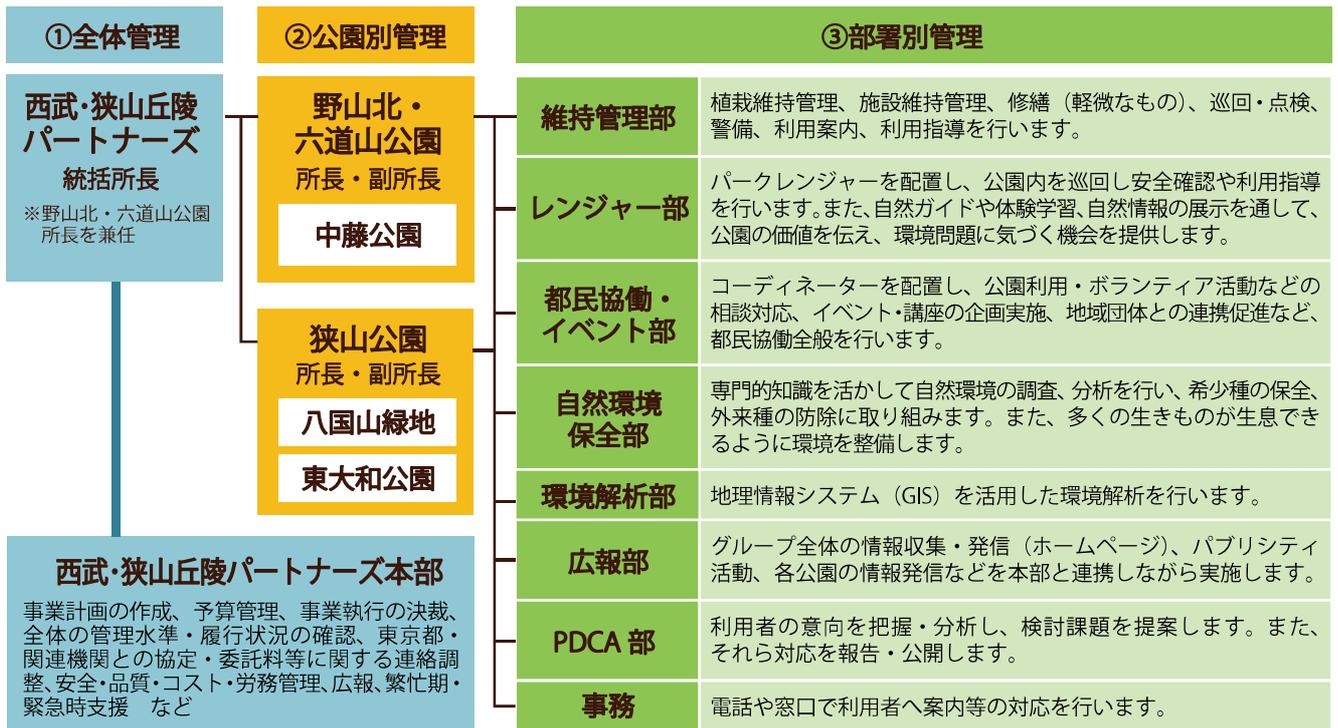
公園の管理運営では、上位計画や各公園のマネジメントプランを基本に、さまざまな利用者ニーズを反映し、時代の変化に柔軟に対応できる人材が必要です。そこで私たちは、以下の方針に基づいた人員を各公園に配置します。

- 公平・平等・安全を基本とした公の視点を持ち、公園管理に必要な知識・姿勢を備えた人材
- 公園管理に関わる「人材・資金・情報」をトータルにマネジメントできる経験豊富な人材
- 公園の特性に応じ、「施設維持管理」「自然環境保全」「協働・イベント」といった多岐にわたる知識・技術を発揮できる「専門力」のある人材
- 「おもてなし」の心を持ち、明るい笑顔での確かな接遇と対応ができるコミュニケーション能力のある人材
- 地域の資源や情報に詳しく、地域愛のある人材

また、地域雇用を促進するほか、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画に配慮した職場環境を整え、女性・高齢者・障がい者雇用に積極的に取り組みます。

#### 2) 業務執行体制～全体・公園別・部署別の管理体制に基づく配置～

5 公園を効率的かつ効果的に管理運営するため、全ての公園・緑地を統括する「**全体管理**」、公園毎に正確・確実に管理する「**公園別管理**」、部署毎に専門性を発揮する「**部署別管理**」の**3つの管理体制**によって業務を実施します。



■統括所長：統括責任者として、東京都・各種関係機関・本部との調整等を行いながら、公園グループ全体を統括  
 ■所長・副所長：公園の責任者として、各関係機関・部署間の調整、予算管理や経理業務、スタッフの管理、各公園との情報交換等を実施

これらの人材配置において、各部署の業務内容に適した**専門的な有資格者の配置**を積極的に進めます。また各構成団体に在籍する有資格者による支援体制、資格取得の奨励などにも取り組みます。

#### ※各構成員に所属する有資格者が所有する資格の種類

項目	資格名
<b>公園管理</b>	公園管理運営士
<b>植栽管理・自然・環境保全</b>	樹木医、環境再生医（上級）、技術士（環境部門、建設部門、総合技術監理部門）、自然再生士、植栽基盤診断士、街路樹剪定士、造園修景士、1級造園施工管理技士、1級土木施工管理技士、1級建築施工管理技士、1級管工事施工管理技士、1級造園技能士、造園工事基幹技能者、測量士、一級建築士、監理技術者、環境緑化樹木識別検定、グリーンアドバイザー、2級ビオトープ計画管理士、1級・2級ビオトープ施工管理士、初級園芸福祉士、園芸装飾技能士（2級）、生活園芸士、eco検定、生物分類技能検定（動物部門1・2級、植物部門1級）、農業適正指導アドバイザー、農業作業員、チェーンソー作業員、チェーンソー・刈払機安全衛生教育修了者、振動工具取扱作業員、移動式クレーン運転士、フォークリフト運転技能者、車両系建設機械運転技能者、高所作業車運転技能講習受講者、玉掛技能者、研削といし取替試運転作業員 等

次ページへ続く

項目	資格名	※前ページより
協働・パート	社会福祉士、東京都緑のボランティア指導者（緑地保全活動1級）、ボランティアコーディネーション力検定（2・3級）等	
安全管理、防災	防災士、防火・防災管理者、消防設備士、衛生管理者、安全衛生推進者、応急手当普及員、普通・上級救命技能、赤十字救急法救急員、安全手当指導員、幼児安全法支援員、遊具日常点検講習修了者、危険物取扱主任者（乙種）、第四級アマチュア無線技士、警備員指導責任者 等	
環境学習関連	森林インストラクター、ネイチャーゲームリーダー、プロジェクトワイルドエドゥケーター、プロジェクトWET エドゥケーター、自然観察指導員、学芸員、自然体験活動（CONE）指導者、公益財団法人日本キャンプ協会キャンプインストラクター 等	
その他	GIS 上級技術者、福祉環境コーディネーター2級、食品衛生責任者・管理者、サービス接客実務検定（1級）、色彩検定（2級）、東京都公害防止管理者、建設業経理事務士（1級）、調理師、教員免許、手話技能検定 等	

### 3) 技術・能力向上の取組 ～スタッフの基礎的技術の習得と専門的技術向上～

定期的な研修や視察、OJT 等によって、**全スタッフに徹底した教育**を行い、公園管理運営に必要な知識・技術の向上を図ります。特に首都直下地震の想定や少子高齢化について、防災・安全管理や接遇をはじめとした様々なタスクをこなせるように力を入れます。

また、協力会社など、公園管理運営に携わる団体・個人が情報や技術を共有できる機会として、定期的な会議や研修を積極的に行います。



ユニバーサル研修



海外事例視察

① スタッフ研修	スタッフの基礎技術の習得 (全スタッフ対象)	接遇、個人情報保護、普通救命技能講習（心肺蘇生法およびAED）、緊急時対応、ユニバーサル研修、コンプライアンス研修など、基礎技術研修を定期的（各年1回）に実施。構成員である（一社）防災教育普及協会のノウハウを活かした公園管理者ならではの防災に関する学習会や園内の自然環境・歴史や地域の基本情報についての研修などを実施
	専門的技術向上のための人材育成 (各部署常勤スタッフ対象)	外部講習やシンポジウムへの参加、国内外先進事例の視察、ワークショップ形式でのスキルアップを実施。内容としては、パークマネジメント、維持管理・安全管理、動植物保全・生物多様性、GIS（地理情報システム）研修、インタープリテーション、ボランティアコーディネーション、広報など（各部署ごとに年1回以上）。各種資格の取得を奨励
	OJTによる人材育成	日常業務の中で円滑かつきめ細やかな研修業務を遂行するため、OJT（On-the-Job Training）を実施。特に新人スタッフには、基本的なパソコン操作の研修やパートナーズの管理運営方針の確認などの研修を実施（随時）
② 情報・技術の共有化等	構成員会議	構成団体の責任者が参加（隔月1回）。履行状況や事業内容の確認、課題への対策、スタッフ能力向上の取組等について話し合う。目標達成のための戦略的な意見交換を行う。
	スタッフミーティング	《全体ミーティング》スタッフ全員による公園全体のビジョンの確認、日常の管理運営における問題点を話し合うミーティング（年2回）。 《チーム会議》各部署の責任者による事業執行管理、企画立案および情報交換（月2回）。 《朝礼、終礼》管理所毎に朝礼、終礼を実施し、日々の管理運営に関して情報共有を行う。
	協力会社等との情報共有	維持管理を担う協力会社のスタッフも公園管理を担う一員として、自分自身及び利用者への安全管理や接遇に関する情報を、日々の朝礼時及び安全会議（年2回）を設けて共有。普通救命技能研修を、協力会社にも実施（年1回）
	各種マニュアルの整備	これまでの指定管理実績等から培ったノウハウを踏まえ、独自の各種マニュアルを作成し、協力会社等を含めた全スタッフが習得する。 【パートナーズで整備しているマニュアルの種類】安全対策、接遇、ユニバーサルデザイン、個人情報保護、植栽管理、トイレ清掃基準、委託業者入場、公園便利帳、イベント、 <b>災害時初動、規制帯設置</b> ほか

### 4) その他の取組

これまでも私たちは、男女の均等な機会及び待遇を確保し、多様なスタッフを雇用してきました。今後も**誰もが働きやすく**、スタッフ一人ひとりが**生きがいを持って活躍**できる職場環境をつくっていきます。

若い世代からベテラン世代までが活躍する、活力あふれる職場



①女性・障がい者・高齢者の雇用推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度現在、狭山丘陵の都立公園グループで雇用する公園スタッフの内、約40%が女性です。今後も同様に女性の活躍の場を作ります。</li> <li>「障がい者雇用の促進等に関する法律」に基づき、障がい者の積極的雇用に努めています。</li> <li>高齢者が生きがいを持って働ける環境づくりに努めます。</li> </ul>
②ワーク・ライフ・バランスの実現	残業の削減、年休取得の奨励を積極的に推進し、仕事と生活が調和する職場環境を整えます。代表企業は、豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業に認定されており、ダイバーシティにも対応します。
③都市公園コンクール応募等チャレンジ精神の醸成	都市公園コンクールの応募や、学会等への論文投稿など、公園管理で培った技術や知見を積極的に発信することで、スタッフのチャレンジ精神を育み管理技術の向上につなげます。

### 3 運営管理計画

#### (1) 都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組

##### 1) 地域団体などと連携した指定管理者としての管理運営の方針

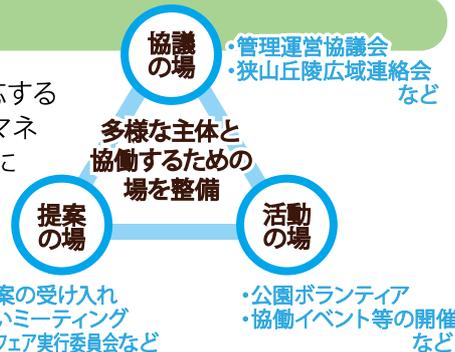
私たちはこれまで、東京都の上位計画等をふまえて公園・地域、また、狭山丘陵全体の課題やニーズに対応するため、**広域的視点を持った都民協働による循環型パークマネジメント**を実践してきました。この手法を今後も継承・発展させ、**多様な主体とのパートナーシップ**で「**サステナブルチャレンジ**」に取り組みます。



##### 2) 環境の変化や新たなニーズに応えるための具体的な取組

###### (i) 多様な主体とのパートナーシップ

環境の変化や高度化したニーズに応じていくためには、管理者だけで対応するには限界があります。そのため、これまでの都民協働による循環型パークマネジメントを継承・発展させ、より多様な主体が様々な形で公園の管理運営に参画できるよう、「**協議の場**」・「**活動の場**」・「**提案の場**」の3つの仕組みを整備します。



**協議の場** 公園や地域、広域的な課題やニーズに広く対応するため、協議をする場をつくり、パートナーシップを図ります。

・企画提案の受け入れ  
・わいわいミーティング  
・狭山丘陵フェア実行委員会など

・公園ボランティア  
・協働イベント等の開催など

公園・地域 管理運営協議会	管理運営を円滑に進めるため、園内の整備工事や管理運営の状況など、東京都と連携して、地域の関連団体や周辺自治体と情報交換を行います。 ・野山北・六道山公園管理運営協議会（年3回） ・狭山3公園管理運営協議会（年1回） ・中藤公園管理運営協議
広域的 狭山丘陵広域連絡会等	狭山丘陵全体の広域的課題に対応するための情報共有、意見交換を、各自治体・関係団体等と行います。



**提案の場** 公園や地域の魅力が高まるアイデアを出しあう場をつくります。

公園・地域 懇談会わいわいミーティング	気軽に公園利用者、市民団体などが集まって、各公園で課題となっているテーマに沿ってワークショップ形式で意見交換します。
広域的 狭山丘陵フェア実行委員会	都県境を越えた団体が集まり、狭山丘陵の普及啓発について情報共有・意見交換を行います。また発信の場として、狭山丘陵フェアやシンポジウムを実施します。



**活動の場** 里山保全活動や、イベントの開催等、多様な主体が活動する場をつくります。

公園・地域 登録ボランティア ・野山北・六道山公園ボランティア ・狭山公園友の会体験ボランティア 学校ボランティア 団体ボランティア 企業・NPO ボランティア インターン	この10年間グループ全体で平均年間約8000人のボランティアが活動に参加。今後もより多くの人に参加できるしくみを拡充します。 ●活動を活性化させるためのコーディネーターの配置を継続 ●都民、学校、団体、企業、外国人など、多様な主体が参加できる受け皿の拡充 ●安心して活動できるよう、「活動のしおり」、「手引き」など、基本的なルールを共有するしくみの充実 ●「楽しむ」「学ぶ」など段階的なプログラム等による参加者を増やす仕組みの継承 ●人材育成の場として、講座を開催する、スキルアップのしくみの充実
---	---



パークコーディネーターが多様な活動を調整・推進!

人材育成のためのテキストを整備

ルールや情報を共有するツール

(ii) パートナーシップで進める「サステナブル チャレンジ」

現代社会が抱える様々な問題を下記の8つの視点で捉え、多様なパートナーシップで解決し、持続可能な社会づくりを目指します。

凡例	<b>NEW</b> : 新規の事業	<b>済</b> : 実施済の事業	
	<b>狭</b> 狭山公園	<b>八</b> 八国山緑地	<b>東</b> 東大和公園
	<b>野</b> 野山北・六道山公園	<b>中</b> 中藤公園	<b>全</b> 全公園

<p><b>① 伝統文化・風景</b></p> 	<p><b>日本人の心の原風景を継承する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 里山の風景を伝承する雑木林や田んぼなどのボランティア活動の拡充</li> </ul> <p><b>伝統的風習や地域固有の文化を伝える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ こいのぼり、門松づくり、七夕づくりなど、伝統的な風習や地域固有の文化を楽しめる空間づくり</li> <li>★ 伝統食つたえたい♪、わら細工教室、お茶摘み隊など、<b>里山の文化を伝承するボランティア活動の促進</b></li> </ul> <p><b>国内外の多くの人に里山体験してもらう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>NEW</b> ネイチャーガイド、田んぼ体験、大島紬の着付けなど、<b>外国人向け里山体験プログラムの実施</b></li> <li>★ 外国語対応パンフレットや解説板の充実</li> </ul>	<p><b>② 地域・産業活性化</b></p>  <p><b>地域と一体となって狭山丘陵の魅力を発信する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 都県境を越えた団体が連携して、<b>狭山丘陵フェア</b>を継続開催</li> <li>★ 狭山丘陵を楽しむ「春のうららかウォーキング」を継続開催</li> </ul> <p><b>地元産業の活性化につなげる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 地元の農家や商店などが参加する公園イベントを継続開催</li> <li>★ 周辺自治体等と連携したウォーキングイベント等の継続開催</li> </ul> <p><b>観光を通じて公園・地域への誘客を進める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 国内外の多くの人に里山体験をしてもらうため、<b>旅行会社や周辺自治体と連携したプログラムの企画開発</b></li> </ul>
<p><b>③ コミュニティ</b></p> 	<p><b>新たな交流が生まれる拠点をつくる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>NEW</b> 一人でも気軽に公園に来られ、人と人の自然なつながりが生まれる<b>コミュニティスペースづくり</b>（ボードゲーム、ブックコーナーの設置）</li> </ul> <p><b>多世代・多様なボランティア活動を広げる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 公共性を担保し、コミュニケーションを促進させる、協働のための<b>コーディネーターを配置</b>することで、ボランティア活動を活性化</li> <li>★ 来園する人を楽しませる公共の花壇づくりを学べる、実践的なコミュニティリーダー養成講座の継続開催</li> </ul> <p><b>交流を通じてマナーアップする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>済</b> マナーアップキャンペーンで犬のしつけ方教室や自転車の乗り方教室を実施</li> </ul>	<p><b>④ 防災</b></p>  <p><b>公園を拠点とした地域防災力を高める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>済</b> 多世代が参加しやすい<b>地域防災イベント</b>の開催</li> <li><b>済</b> <b>サバイバル技術</b>を活かした防災イベントの開催</li> <li>★ 地域防災組織との連携強化（地域消防署、消防団、自治体等）</li> </ul> <p><b>災害への事前の対策を充実させる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 関連団体の協力による実践的な防災訓練の実施</li> <li>★ 日常的な施設点検や予防保全の徹底</li> </ul>
<p><b>⑤ 健康</b></p> 	<p><b>健康的なライフスタイルを提案する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 子どもからお年寄りまで、誰もが気軽に参加し、身体を動かす楽しさを体感できる、<b>ヘルシープログラム</b></li> <li><b>済</b> スポーツキャラバン、ウォーキング教室</li> <li>・地元ヨガ教室によるパークヨガ</li> <li><b>NEW</b> 癒しのウォーキング里山いやしの小径</li> <li>★ 里山の自然環境をもっと身近に楽しめる、<b>アウトドアプログラム</b></li> <li><b>NEW</b> 里山で1泊！ SATOYAMA Life CAMP</li> <li><b>NEW</b> ノルディックウォーキング教室</li> <li><b>NEW</b> 風景を楽しみながら巡るフォトロゲイニング</li> <li><b>NEW</b> フォレストアドベンチャー</li> <li><b>NEW</b> ツリークライミング</li> </ul>	<p><b>⑥ 教育体験</b></p>  <p><b>環境教育拠点としての機能を充実する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 丘陵地内の施設等と連携した環境教育の機会の創出</li> <li>★ 管理所内の展示・案内の充実</li> </ul> <p><b>ほんもの体験で生きぬく力を育てる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ <b>里山ほんもの体験</b>として、年間田んぼ体験、里山キッズ探検隊を継続実施</li> <li>★ 乳幼児から小中学生等各年齢層を対象とする子ども向け体験プログラムの充実</li> <li><b>NEW</b> 雑木林ようちえんの開催</li> </ul> <p><b>自然とふれあう学びの場を提供する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ レンジャーによるガイドウォーク</li> <li>★ キッズレンジャーの養成</li> <li>★ レンジャーミニ図鑑やセルフガイドの充実</li> <li><b>NEW</b> 小中学校の先生を支援する、総合学習プログラムの強化</li> </ul>
<p><b>⑦ 生物多様性</b></p> 	<p><b>生きぬく基盤となる生態系を保全する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 自然環境専門部署による生物多様性を高める計画の作成と実施</li> <li>★ <b>都民協働によるきめ細やかな保全活動</b>を実施</li> <li>★ 希少種の保護や外来種の駆除を都民協働、多様な専門家との連携により推進</li> <li><b>NEW</b> 実証データに基づく保全の実践例を全国に発信</li> </ul> <p><b>広域的視点で生物多様性に取り組む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ エコロジカルネットワーク形成のため、狭山丘陵広域連絡会と連携した生態系保全の取り組みを拡充</li> </ul>	<p><b>⑧ 資源活用</b></p>  <p><b>里山の資源を有効活用する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 里山資源循環の拠点として<b>リサイクルセンターを活用するための仕組みづくり</b></li> <li><b>NEW</b> 薪の販売など、都の財産としての里山資源を有効活用する仕組をモデルプログラム化</li> <li>★ 園内で発生した伐採木、枝葉などの資源循環を促進</li> <li>★ 箸や竹籠づくりなど、ボランティア活動による資源活用を促進</li> </ul> <p><b>資源循環のライフスタイルを提案する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>NEW</b> 木と共にある暮らしイベントの開催</li> <li>★ 里山×slowlife、花炭づくりなどのイベント開催</li> </ul>

## (2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

### 1) 基本的な考え方

指定管理者は公平・平等に利用者の声を把握し、業務に反映する義務があります。私たちはこれまでPDCA マネジメントサイクルに基づき、利用者の声を的確に把握し、業務に反映することにより、公園の質を向上させてきました。また、公園のルールやマナー向上のための取組みに力を入れてきました。今後も継続的に利用者の意見を把握し、業務に反映することでさらに利用者の信頼と満足度を向上していきます。

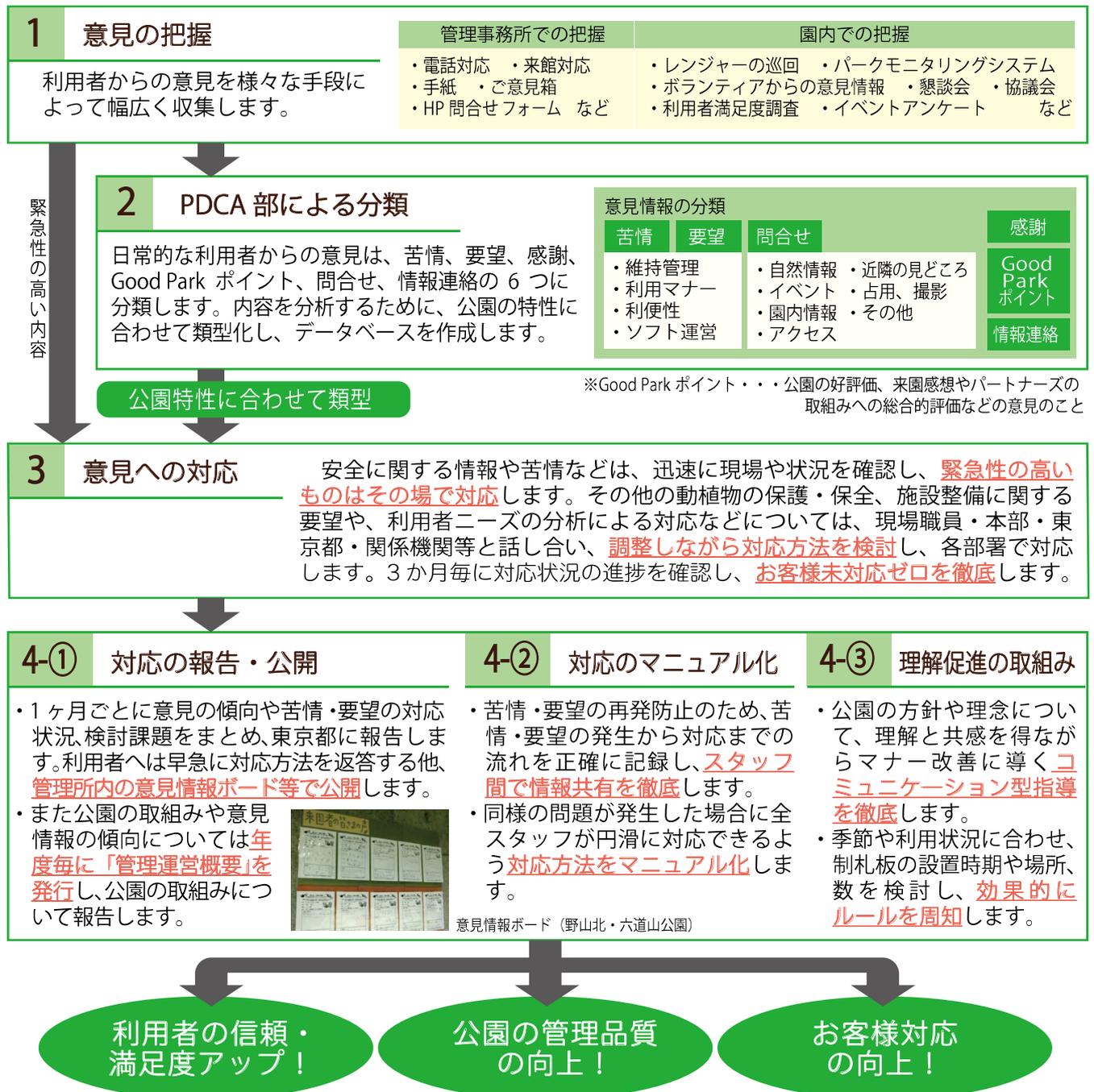


1年間の取組みをまとめた「管理運営概要」

### 2) 利用者要望の反映と仕組

よりよい公園づくりのため、利用者から広く意見を収集し、それらの意見を検討した結果や管理運営への対応を報告・公開することで、利用者との信頼・満足度の向上、また、管理品質の向上につなげます。

さらに、同様の意見があった際に、スタッフ全員が同じ対応ができるよう、対応方法をマニュアル化し、お客様対応の向上を図るとともに、利用者の実際の声として、要望がない場合も、日常的に公園の理念やルールを伝えることで、利用者の理解を促進させる取組みを実施します。



### 3) 要望・苦情への対応方法

全ての利用者に対して誠実で平等な対応を行います。基本的には、①相手の意見をよく聞き事実を確認する、②よく話し合う、③公園の運営に反映する（必要に応じて広く意見交換を実施）の3つの手順によって対応します。

意見の内、特に“苦情”については、「公園を改善する良い機会」であると捉え、相手の話をよく聞いた上で、公園の理念や方針をわかりやすく説明し、相互理解を進めます。合意が得られない場合は、様々な人との意見交換により、解決策を検討していきます。

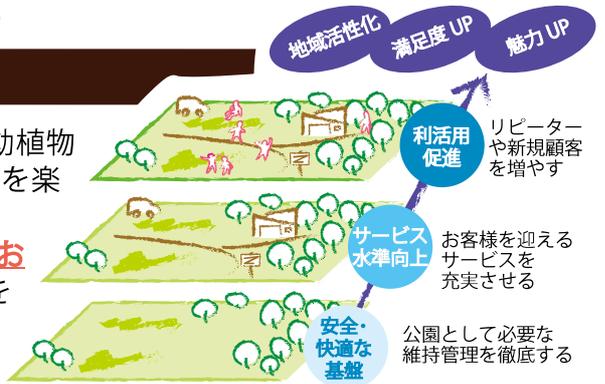
ケース	自転車利用者のマナーについて	犬の飼い主のマナーについて	山野草の盗掘について
課題	利用者より 「自転車のスピードが速くて怖い」 「園路以外の場所を走行している」 という苦情があった場合	利用者より 「犬を自由に遊ばせたい」 という要望や、相反する 「ノーリードをやめさせてほしい」 「飼い主のマナーアップが必要」 という要望があった場合	キンラン等の希少種の盗掘が相次ぎ、他の利用者より盗掘から花を守ってほしい、という要望があった場合
管理者としての考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の園内走行は禁止していないが、歩行者と自転車利用者が共に公園を気持ちよく利用できるようにする必要がある。</li> <li>丘陵地の特性上、動植物保全への配慮も必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>犬のノーリードについては、禁止であり、公園での犬のマナーについて周知する必要がある。</li> <li>マナーのよい飼い主を増やすことで、マナー違反をしにくい雰囲気をつくっていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園のルール（動植物採取禁止）について周知する。</li> <li>保全の取組み、生物の生態等についてわかりやすく解説し、理解者を増やす。</li> </ul>
実際の取組	<p>日本マウンテンバイク協会や地元自転車愛好団体（西多摩マウンテンバイク友の会、ベルジタ）と今後の自転車利用に関する意見交換を実施</p> <p>マナーアップを図るため、新たに具体的マナーを明記したグッズ（パンフ、ステッカー、のぼり等）を共同開発</p>  <p>マナーアップキャンペーンを実施し、期間中、重点的にレンジャーによるコミュニケーション型指導を実施。危険箇所看板を設置</p> <p>愛好団体の協力による自転車に関するマナーアップ講習会を実施</p>  <p>マウンテンバイク等の駐輪場の適正配備</p>	<p>日常的に、レンジャーによるコミュニケーション型利用指導を徹底して実施</p>  <p>他公園と共同でマナーアップキャンペーンを実施。のぼり旗を設置</p>  <p>企業とのタイアップで、環境に優しい植物由来のうんち袋を導入、配布</p>  <p>愛犬のしつけ教室を開催</p>  <p>期間中、グッドマナーの輪を楽しく広げる場を作ることで、多くの賛同者を増やし、公園全体でのマナーアップの雰囲気を盛り上げていく</p> 	<p>レンジャー巡回により盗掘被害の実態を確認</p> <p>データベース、PDCA等により、過去盗掘が多かった時期、エリアを特定し、重点的な掲示、巡回等の計画を立てる</p> <p>制札板（ルールの明示）、キンランの生態と保全についての解説板の設置</p>  <p>レンジャーによるコミュニケーション型指導の実施。特に盗掘の多い時期は重点的に実施</p> <p>ガイドウォークやマナーアップキャンペーンでも、保全についての問題を伝え、普及啓発を実施</p> 
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者から、取組みに対する評価の声が多くあげられた</li> <li>自転車専門誌にも取組みが取り上げられ、PR効果が高まった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飼い主グループ等によるキャンペーン支援者が増加</li> <li>ノーリード指導件数が大幅減少（H23は157件→H30は37件に！）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レンジャーのコミュニケーション型指導を徹底し、マナーアップキャンペーンで広くルールを周知した結果、盗掘数が減少！</li> </ul>
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も自転車利用は増加傾向にあるため、愛好団体との連携を強化</li> <li>歩行者が安心して公園を利用できる自転車ルートを設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>犬連れ利用のマナーアップキャンペーンを継続し、賛同者を増やす</li> <li>日常的なコミュニケーション型指導を継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マナーアップキャンペーンの取組みを広く発信し、丘陵地全体で自然を守るための連携を強化</li> <li>花の見所として紹介し、多くの目で見守ることにより、盗掘を抑制</li> </ul>

### (3) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組

#### 1) 継続的な質の高いサービスの提供の考え方

狭山丘陵グループの公園は、四季折々の変化が楽しめ、動植物が生息生育する豊かな里山環境の中にあります。その里山を楽しんでもらうための**安全・快適な基盤**をつくります。

その上で、拠点施設や園内に、ソフトとハードの両面から**お客様を迎えるサービスを充実**させます。そして、利用促進を通じて**リピーターや新規顧客を増やし**、公園の魅力向上・利用者の満足度向上・地域活性化につなげていきます。



#### 2) サービス水準向上の取組

##### (i) 狭山丘陵ならではの「おもてなし」

オリンピック・パラリンピック開催を、国内外のより多くの人たちに**里山の魅力を知ってもらうチャンス**とし、誰もが気軽に来られる、おもてなしの環境を充実させます。特に、狭山丘陵の広大な景観や里山民家がある特徴を活かし、東京でありながら、まるで**「ふるさと」にきたような、ぬくもりを感じる公園**をつくります。

##### ① ふるさとを感じるホスピタリティサービス

出会いや交流を大切にしたい対応や、ふるさとの雰囲気味わえる演出を行います。

- ・+1トークコミュニケーション
- ・ホスピタリティウィーク
- ・季節の風習を活かした空間づくり
- ・お正月大島紬でのおもてなし

**NEW** ボランティアと連携したおもてなしサービス



##### ② 丘陵地だからこそユニバーサルデザイン

丘陵地の豊かな自然をより多くの方に楽しんでもらえるよう、ソフト・ハードの両面から、利用しやすいユニバーサルデザインを進めます。

- ・アウトドア車いす、筆談グッズレンタル
- ・レンジャーおすすめコースマップ配布
- ・外国語対応案内板・パンフレット

**NEW** HPにおけるユニバーサル情報特集ページ作成

##### ③ あってよかった・うれしい便利サービス

誰もが使いやすく、便利なグッズやサービスを常備します。

- ・パパ&ママいつでも安心サービス (授乳、オムツ替えコーナー)
- NEW** バイクエンジョイセット (ピクニックラグ、絵本、遊び道具などのレンタル)
- NEW** WiFiの設置
- NEW** タブレットによる情報発信

##### (ii) 立ち寄りたくなる拠点施設のサービス強化

拠点施設における**「情報」「学習」「交流」の3つのサービスをより強化**していきます。



狭山公園パークセンター / 野山北・六道山公園インフォメーションセンター / 里山民家

##### ① 旬で使える「情報」提供

定番から旬の情報まで幅広く情報を発信します。

- ・開花情報
- ・ハザード情報
- ・管理者の取組
- ・周辺の地域情報
- など

みどころ情報ボード



##### ② 里山の自然や文化を学べる「学習」の場づくり

誰もが気軽に学べる展示やセルフガイドを充実します。また小学校向けの環境学習教材を作成します。

- ・展示・生態展示
- ・セルフガイド
- ・キッズコーナー
- ・図書コーナー

**NEW** 総合学習のための環境学習ガイド



##### ③ 「交流」が生まれる空間づくり

利用者同士の交流が生まれる雰囲気づくりやゆしかげづくりを進めます。

- NEW** コミュニケーションスペース (囲碁、カフェなど)
- NEW** 薪ストーブの導入
- ・利用者参加型ギャラリー

居心地の良い休憩施設



##### その他

**④ 移動できる拠点づくり**

**NEW** イベント、満足度調査等にに合わせて、管理所のない公園、園外にもスタッフを派遣し、公園の魅力を発信します。

#### 3) 利用促進のための取組

狭山丘陵の地域の特性や、5つの公園のそれぞれの特性を活かした**多様なプログラムと効果的な情報発信**により、新規の利用者やリピーターを増やします。

##### (i) アニバーサリーイベントの開催 **NEW**

平成28年度の中藤公園の新規開園を皮切りに、**毎年連続**して開園後の節目の年となる公園が続きます。そのため、利用者とともに開園記念をお祝いするアニバーサリーイベントを実施します。具体的には、**記念セレモニーイベント・のぼり・ポスターの設置・記念グッズの作成**などを実施します。

平成28年	中藤公園	オープニング	済
平成29年	狭山公園	80周年	済
平成30年	野山北六道山公園	30周年	済
令和元年	東大和公園	40周年	済
令和2年	八国山緑地	30周年	

## (ii) 公園特性を活かしたプログラムの展開

これまで、**都民協働で公園特性を活かしたコンセプトを設定し、それに基づくプログラムを展開。年間 150 回以上、延べ 10,000 人以上の参加者**がありました。今後、里山の文化や自然をより気軽に親んでもらえるプログラムや外国人向けプログラムを充実させ、更なる利用促進を図ります。

コンセプト	プログラムの内容
<b>狭山公園</b> 人と出会う、自然と出会う、はじめの一歩 <b>狭山丘陵の玄関口</b>	知名度やアクセスの良さを活かし、自然とふれあえる <b>子ども向け環境教育</b> や <b>SATOYAMA ヘルシープログラム</b> など気軽に参加できるプログラムを充実。 <b>教育・体験</b> : 環境教育プログラムの充実 (総合学習の受入れ、セルフガイドシートの作成)、親子自然あそびプログラム (0~2, 3・4歳対象)、さやまキッズプログラム (5歳以上対象)、ちよこっとボランティア (小学生以上対象)、ガイドウォーク (小学生~大人対象) 等 <b>健康</b> : ヘルシー&アウトドアプログラム (NEW) <b>資源活用</b> : 木と共にある暮らしイベント (NEW)、花炭イベント、里山×slow life イベント 等 <b>地域・産業活性化</b> : 狭山 3 公園春のうららかウォーキング、子どもの日イベント <b>伝統文化・風景</b> : 英語対応ガイドプログラム (NEW)、季節イベント (七夕飾り、クリスマス飾り、花の摘み取り、ラベンダーサゼブくり) 等 <b>コミュニティ</b> : パークリビングカフェ、コミュニティガーデナー養成講座 等 <b>防災</b> : そなえパークの日
<b>八国山緑地</b> 古を思い、次世代へ伝える <b>歴史・人・自然をつなげる里の道</b>	縄文時代から息づく地域の歴史や文化、 <b>自然を体感できるプログラム</b> や <b>防災に関連したイベント</b> を実施。 <b>健康</b> : ヘルシープログラム (NEW) <b>伝統文化・風景</b> : 歴史文化ガイドツアー (英語対応) (NEW) <b>防災</b> : サバイバルキャンプイベント (NEW)、地域防災イベント <b>資源活用</b> : 近隣小学校等と連携した落ち葉かき、里山×slow life イベント
<b>東大和公園</b> 雑木林のすばらしさを感じ、学び、育む <b>雑木林博物館</b>	雑木林について <b>知識を深められる講座</b> や <b>セルフガイドプログラム</b> を実施。 <b>教育・体験</b> : 周辺保育園等と連携した雑木林ようちえん (NEW)、セルフガイドシートの作成 (NEW)、体験ボランティア 等 <b>生物多様性</b> : 雑木林博物館講座、市民団体と連携した自然観察会 等
<b>野山北・六道山公園</b> 豊かな自然を活かし、みんなで学び、育てる <b>懐かしいようで未来につながる公園</b>	里山の文化や歴史、自然にふれる <b>ほんもの体験</b> のプログラムを実施。 <b>伝統文化・風景</b> : 里山文化体験プログラム (英語対応) (NEW)、わら細工教室、里山の四季を感じる季節イベント (七夕飾り、正月飾り、門松飾り等)、伝統食レシピの作成・PR 等 <b>教育・体験</b> : 親子里山学校 (年間通した田んぼ体験コース)、里山キッズレンジャー、環境教育プログラムの充実 (総合学習の受入れ、セルフガイドシートの作成)、体験ボランティア 等 <b>資源活用</b> : 木と共にある暮らしイベント (NEW)、里山×slow life イベント <b>生物多様性</b> : 雑木林マイスター講座 (入門・スキルアップ)、里山ガーデナー講座、自然観察会 (ボランティアと連携)、野鳥の写真展 (日本野鳥の会と連携) 等 <b>地域・産業活性化</b> : 企業等と連携した里山体験プログラム、里山祭り (春祭り、収穫祭等) <b>健康</b> : アウトドアプログラム (NEW) <b>防災</b> : そなえパークの日
<b>中藤公園</b> 狭山丘陵の緑の連続性を確保しつつ <b>里山の歴史を引き継いでいく場</b>	新規開園のPR と <b>地域の信頼関係を築く</b> プログラムを実施。 <b>教育・体験</b> : 体験ボランティア <b>伝統文化・風景</b> : 開園状況に応じて、歴史ガイドツアー等を実施

## (iii) 多様な広報展開による情報提供

里山に対するイメージを「**もっと気軽に・もっと身近に**」していくため、ビジュアル的なデザインを用いつつ、多様な主体と連携しながら、広報活動を展開していきます。

### ① 里山のイメージを伝える多様な広報ツールの作成

- ホームページ・フェイスブック
- チラシ
- パンフレット
- 5 公園共通情報誌「きてみて!」
- オリジナルグッズ

中藤公園パンフレット作成  
 ターゲット別イベントパンフレット

手ぬぐい トイレ紙 マグカップ 缶バッジ  
 絵はがき マグネット ステッカー

現在 64 号! 年間 4 万部発行

### ② 多様なメディアの活用

西武グループをはじめ、公共交通機関、全国・地元メディア、自治体広報などと連携し、広く公園をPRします。



### ③ 外国人向け情報発信

5 言語 (日・中・韓・英) のパンフレットや英語版HP を作成。今後、さらにイベント情報や旅行商品など、外国人向けの情報発信を強化します。

中国語繁体字版パンフレットの作成  
東京観光情報センター等インバウンド向け案内所の活用

### ④ 広域プロモーション

狭山丘陵全体、里山の魅力を伝えるため、冊子作成、PR 活動を展開します。

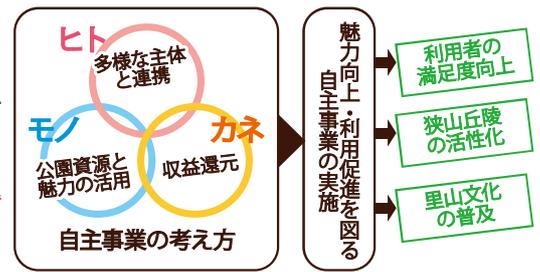
フリーマガジン発行  
オリンピック開催期間中の都内プロモーション



## (4) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

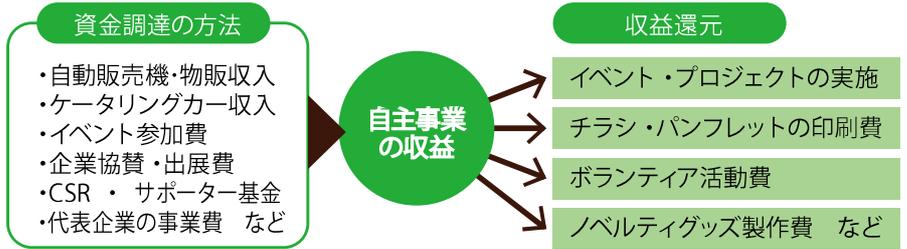
### 1) 自主事業の実施方針

私たちは、これまでも公園の魅力向上と利用促進を図る多様な自主事業を民間ならではの柔軟な発想を活かして実施してきました。今後も東京都と協議の上、これまでの取組みをさらに発展させ、多様な主体と連携しながら、公園の資源や魅力を活用し、公園の管理運営で得られた収益を還元しながら、公園利用者の満足度の向上、狭山丘陵の活性化、里山文化の普及に貢献する自主事業を展開します。



### 2) 資金調達の考え方

自主事業の実施のための資金は、企業協賛・出展費、自動販売機収入、イベント参加費などにより調達します。また、それらの収益については、イベントの実施やチラシ印刷、ボランティア活動などの公園の魅力づくりに還元します。



### 3) 具体的な取組の提案

多様な主体と連携したサステナブルチャレンジにより、里山の楽しみ方や利活用の可能性を広げます。

実施公園の凡例： 狭 狭山公園 八 八国山緑地 東 東大和公園 野 野山北・六道山公園 中 中藤公園 全 全公園

#### (i) スポーツ & アウトドア感覚の里山アクティビティでレジャー&観光スポット化!

里山の新たな楽しみ方を提案する里山アクティビティを充実させます。そして、里山が、海・川・山に並んで、休日を楽しむレジャー・観光スポットの選択肢として定着していくよう、里山になじみのない人も興味を持ってもらうプログラム・サービスを展開します。

#### 期待される効果

- ★新しい里山の楽しみ方を提案することで、新たなレジャー・観光スポットとしての注目度を高め、利用者が増大する効果が期待されます。
- ★スポーツやアウトドア感覚で里山を楽しむことで、これまで来園したことのない利用者層を誘引します。

名称(案)	内容	実施予定公園
SATOYAMA -Life CAMP	トレッキングを楽しんだり、里山民家で薪割り体験や暮らし体験など、宿泊しながらたっぷり満喫するCAMP プログラム★連携:(株)スノーピーク	野
ノルディックウォーキング教室	初心者も、女性 1 人でも気軽に参加できる、ノルディックウォーキング教室★連携:ミズノスポーツサービス(株)	野
フォトログイニング	地図をもとに、チェックポイントを回り、見本と同じ写真を撮りながら、時間内に得点を集めるスポーツ★連携:(一社)日本フォトログイニング協会	全
フォレストアドベンチャー	木から木へと空中移動を楽しめるプログラムを導入★連携:(特非)ツリーマスタークライミングアカデミー	狭
ツリーイング	鳥や動物になった目線で楽しめる、新感覚の木登り体験★連携:(特非)ツリーマスタークライミングアカデミー	狭
スポーツキャラバン	ミズノオリジナル器具「ヘキサスロン」を使ったスポーツや親子で身体を使った遊び満載のプログラム★連携:ミズノスポーツサービス(株)	狭八
ウォーキングレッスン	足型測定に基づくアドバイスやフォームチェックなど、運動効果を向上させる歩き方教室★連携:ミズノスポーツサービス(株)	狭八
パークヨガ	子どもからお年寄りまで、気持ちの良い青空の下で楽しめるヨガ教室★連携:地元ヨガ教室CHIZU	狭
太極拳	初心者でも楽しめる太極拳プログラム	狭
レンタサイクル	狭山公園を拠点に狭山丘陵を楽しめるレンタサイクルを実施	狭



フォレストアドベンチャー



SATOYAMA Life CAMP



パークヨガの実施

## (ii) 「東京の宝物」狭山丘陵の魅力を発信して地域を活性化!

狭山丘陵の豊かな里山環境や歴史・文化を、都県境を越えた民間企業や団体等と連携し、**世界に誇れる狭山丘陵の魅力を伝える事業**を展開します。

### 期待される効果

- ★歴史・文化・自然をPRすることで、公園だけでは伝えきれない狭山丘陵全体の魅力を高める効果が期待されます。
- ★地元企業と連携したイベントを開催することで、企業のPR効果が期待でき、地域活性化の一助となります。

名称(案)	内容	実施予定公園
狭山丘陵フェア	都県境を越えた各施設団体と連携し、狭山丘陵一体となった普及啓発を行うイベント★連携:狭山フェア実行委員会、相羽建設等	全
狭山丘陵フリーペーパー	狭山丘陵のオススメコースや見所を掲載した「SAYAMA HILLS」に続くフリーペーパーを作成	全
SAYAMA HILLS WALKING GUIDE 作成	狭山丘陵フリーペーパーの英語バージョンを作成し、外国人にも魅力を発信	全
団体向けガイドプログラム	事前予約制で狭山丘陵の都立公園を含む、周辺の施設などをガイドするプログラムを実施	狭野
里山文化体験プログラム開発	企業や自治体と連携した里山文化を体験するプログラムの企画開発(日本語/外国語)★連携:旅行会社、周辺自治体等	野
Sayama Hills Products 制作	公園や狭山丘陵の魅力を伝える狭山丘陵グッズを作製し、販売	全
SATOYAMA シンポジウム	国内外の里山環境保全の先進事例などを発表し合い、里山が抱える課題を共有しながら意見交換するシンポジウム	全



狭山丘陵フェア



ガイドプログラム



ANA と連携したツアー商品開発

## (iii) たくさんの笑顔と感動をしかけて公園を活性化!

利用者から要望の多いカフェを繁忙期やイベント等に合わせて実施するなど、非日常の感動体験を創出し、**公園を活性化**します。

### 期待される効果

- ★利便性の向上と魅力の向上の相乗効果が期待されます。
- ★非日常体験の場として、新しい里山利用の可能性を広げます。

名称(案)	内容	実施予定公園
パークリビングカフェ	ケータリングカーによる不定期の飲食販売とコミュニケーションスペースを合わせた、参加者同士の交流が生まれるカフェ	狭野
みどりの中で! フォトウェディング	公園のみどりを活かして一生の記念に残るフォトウェディングを実施	狭
Night Cinema	公園の広場や里山民家を活用し、シネマ鑑賞するイベントを開催	狭野
Music Live	公園の広場や里山民家を使って、音楽を楽しむライブを開催	狭野
マナーアップキャンペーン	犬、自転車などのマナー向上のキャンペーンを実施	全



コミュニティスペース(狭山公園)



Night Cinema 野外映画鑑賞会(狭山公園)

## (iv) 里山資源循環&企業連携のモデルプログラム化!

里山資源循環に貢献する取組みやCSR活動を促進させる取組みを進めます。

### 期待される効果

- ★新たな里山資源の利活用を促進し、全国に普及する効果が期待されます。また、リサイクルセンターの利用活性化を図ります。
- ★里山環境を有する企業緑地などの保全や利活用の促進に貢献します。

名称(案)	内容	実施予定公園
資源循環の仕組づくり	都の財産としての里山資源を有効活用する仕組みを検討、モデルプログラムを実施(例:薪の販売など)★連携:(特非)スズキグループ等	野
企業における森づくりモデル事業支援	企業における、森づくりや生物多様性を進めるCSR活動を支援するプログラムを共同開発★連携:JBIB(企業と生物多様性イニシアティブ)等	野
企業CSRの受入れ	里山保全活動を行いたい企業のCSR活動を受け入れ	野
木と共にある暮らしイベント	ピザづくり、薪割りなど、薪ストーブのあるライフスタイルを提案するイベント★連携:薪ストーブ専門店アリユメール等	狭野



企業CSR活動(野山北・六道山公園)



資源循環のモデルプログラム 木と共にある暮らし(野山北・六道山公園)

## (v) その他

令和元年に作成のパークモニタリングアプリ、公金徴収事務システムにより、管理の効率向上を図ります。

## (5) オリンピック・パラリンピック後も見据えた公園の魅力向上の取組

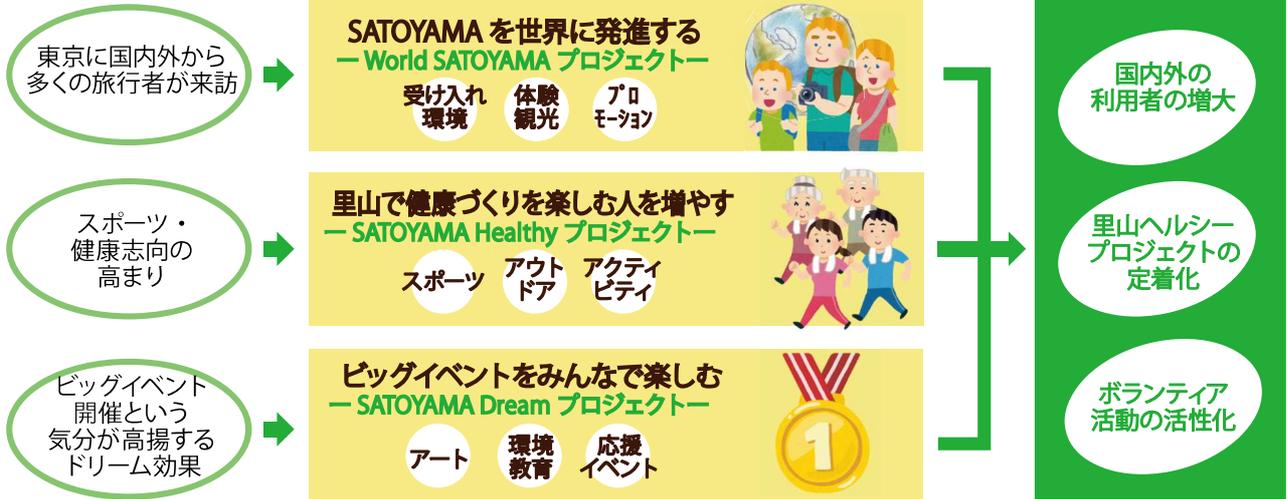
### 1) オリンピック・パラリンピックの社会的効果を活かした取組

オリンピック・パラリンピックという、ビッグイベントだからこそなしえる社会的効果を活かして、里山保全と利用の両立を念頭に置いた、公園の魅力づくりを進めます。そして、それが一過性に終わらず、オリンピック開催後もレガシーとして、国内外の利用者の増大、里山ヘルシープログラムの定着化、ボランティア活動の活性化など、継承されていく取組みとして、事業を展開します。

想定される社会的効果

公園での活かし方とキーワード

開催後のレガシー



### 2) 具体的な取組の提案

凡例：狭 狭山公園 八 八国山緑地 東 東大和公園 野 野山北・六道山公園 全 全公園

#### (i) SATOYAMA を世界に発信する — World SATOYAMA プロジェクト —

オリンピック・パラリンピック開催期間中は、国内外から多くの人々が東京を訪れます。里山を体験したことのない多くの人に、都内にこれだけの豊かな自然環境と地域に根ざした文化があることを知ってもらうため、公園のサービスやプログラムを充実させるとともに、広域的なプロモーション活動を展開し、国内外の利用者を増やします。

#### 受け入れ環境 あらゆる人を受け入れるおもてなし環境を充実

外国人、高齢者や障害者などへも対応できるよう、ボランティアと協働により、ハードとソフトの両面から、受け入れ環境を整えます。

- 主な事業
- ・狭山丘陵の魅力伝えるボランティアガイドの育成 (野)
  - ・外国語対応パンフレット、点字ブロックなど、ユニバーサルデザインの充実 (全)
  - ・タブレットを活用した目的別案内の充実 (狭野)



外国人へのガイド

#### 体験観光 多様な人が里山を体験できるチャンスを拡大

里山の魅力をより多くの人に体験してもらうため、参加しやすいイベントやボランティアと連携した体験プログラム等を充実させ、周知していきます。

- 主な事業
- ・英語対応の里山体験やガイドプログラムの充実 (狭野)
  - ・旅行会社や周辺自治体等との連携による里山体験プログラムの企画開発 (野)
  - ・ターゲット別に紹介するイベント情報誌の発行 (全)



外国人ボランティア

#### プロモーション 国内外への SATOYAMA プロモーション活動の展開

里山のことを国内外の多くの人に知ってもらうため、公園に来園しなくてもその魅力を感じることでできる取組みを推進します。

- 主な事業
- ・外国人向け広報の充実、外国語対応ホームページの拡充 (全)
  - ・オリンピック開催時期における都内での里山プロモーション活動の実施 (全)
  - ・外国人向けの里山の楽しみ方を伝えるフリーペーパーの配布 (全)



英語対応ホームページ

## (ii) 里山で健康づくりを楽しむ人を増やす — SATOYAMA Healthy プロジェクト —

健康志向の高まりをふまえ、スポーツ・アウトドアの感覚を取り入れ、より多くの人に里山の魅力を知ってもらうきっかけとなるイベント・プログラムを展開します。そして、里山で健康づくりを楽しむ人が増え、SATOYAMA Healthy プロジェクトが定着化することを目指します。

### スポーツ 豊かな自然の中で汗を流すスポーツの推進

ウォーキング、ジョギング・マラソン、サイクリングなど、豊かな自然の中で気持ちの良い汗を流し、健康的な暮らしを支えます。

主事業 済・ウォーキングレッスン、スポーツキャラバンなど、ミズノスポーツサービス(株)と連携したスポーツプログラムの展開 狭 八  
・狭山3公園をめぐる春のうららかウォーキング 狭 八 東



ミズノスポーツサービス(株)のスポーツキャラバン

### アウトドア SATOYAMA アウトドアの推進

トレッキング、キャンプ、ツリーイングなど、アウトドアの要素を取り入れ、気軽に里山を楽しめる様々な提案を行います。

主事業 ・里山デイキャンプなど、(株)スノーピークと連携したプログラムの展開 野  
・ツリーイング体験 狭



ツリーイング体験

### アクティビティ 里山ならではのアクティビティの推進

里山の自然環境を活かして、身体を動かし、健康づくりや子どもの身体づくりに寄与するアクティビティをより充実させます。

主事業 済・地図を基に写真を撮りながらチェックポイントを巡るフォトロゲイニングの開催 全  
・フォレストアドベンチャーの導入 狭  
・健康づくりに寄与する里山いやしの小径の活用 八



フォトロゲイニング

## (iii) ビッグイベントをみんなで楽しむ — SATOYAMA Dream プロジェクト —

オリンピック・パラリンピックの気運を盛り上げるため、皆で楽しむしかけとして、①アート作品となる風景づくり、②環境教育とつなげる動植物のSATOYAMA No.1 プログラム、③アスリートを応援するイベントやプログラムを展開します。

### アート 里山環境を活かしたアートな風景づくり

アートの感覚を取り入れ、五輪をモチーフにした花壇やアスリートに扮した案山子をつくり、オリンピック・パラリンピックを盛り立てます。

主事業 済・ワールド花壇づくり 狭 野  
・案山子アスリートコンテスト



案山子コンテスト

### 環境教育 動植物の SATOYAMA No.1 プログラムの推進

「昆虫界の跳躍の世界一は誰?」、「ネイチャークイズの正解者には金メダルを贈呈!」など、オリンピックの要素を絡めた環境教育プログラムを実施します。

主事業 ・生きものディスカバリーゲーム 全  
・ネイチャーチャンピオン 全



レンジャーによる環境学習

### 応援イベント アスリートを応援するイベント・プログラムの実施

アスリートを応援するため、皆で活躍を見たり、応援メッセージを送ることで、機運を醸成します。

主事業 ・パブリックビューイング 狭  
・アスリート応援メッセージキャンペーン 狭 野



応援メッセージイメージ

## 4 施設維持管理計画

### (1) 適切な維持管理を行うための取組

#### 1) 維持管理の方針

私たちは、持続可能な公園の維持管理を進めるため、総合的に企画、管理、活用する**ファシリティマネジメント※の「ファシリティが備えるべき5つの品質」**に基づき、東京都の整備等と連携し、**施設の品質の維持向上と中長期的視点に立った効率化**を進めます。

狭山丘陵グループの各公園は、丘陵地という特性があることから、誰もが**安心・安全・快適に利用できる維持管理**を行うとともに、**生物多様性**の保全、**自然や歴史とのふれあいの場を提供する機能**を十分発揮させ、**里山資源の活用**などを積極的に進めます。

※ファシリティマネジメント：企業・団体等が保有又は使用する全施設資産及びそれらの利用環境を経営戦略的視点から総合的かつ統括的に企画、管理、活用する経営活動（日本ファシリティマネジメント協会）



#### 2) 具体的な取組

##### (i) **安全** 安全で安心して利用できる施設の提供

丘陵地の特性に合わせ、年間・月間維持管理計画を作成し計画的な維持管理作業を実施します。

##### ①施設や樹木点検の徹底による予防保全

日常巡回、定期点検、樹木医による木材腐朽菌の調査を行い、倒木、落枝や施設の不具合が発生する前の予防保全を実施します。

##### ②多様な目線で不具合をチェックし、早期対応・是正を実現

パークレンジャーや点検スタッフに加え、一般来園者も参加しながら、公園の不具合を発見し、早期対応・是正できるシステムを確立しました。

- **パークモニタリングアプリ**：巡回時に発見した施設の不具合と位置情報を、スマートフォンを活用して所管管理所と即時に共有し、早期対応するシステム
- **参加型パークモニタリングシステム**：一般来園者が施設の不具合、不法投棄などを発見した際に、管理所へ連絡するシステム



位置情報を明確にするため、公園入口や園路の辻などに管理番号を設置済み

##### ③安全・安心に関わる会議の開催

スタッフ、協力団体等が一体となって、利用者及び作業者の安全・安心への意識を高めます。

- ・安全大会（年1回）：協力会社を一同に集めて開催する大会。安全週間準備月間を設け安全作業を啓発
- ・安全会議（年2回）：維持管理担当スタッフと協力会社を集め、安全に関する会議及び研修会を開催
- ・維持管理ミーティング（月1回）：管理計画の履行状況や日常の安全管理等の確認、課題抽出と解決策を検討

##### ④防犯カメラの設置

##### (ii) **長持ち** 中長期的視点によるライフサイクルを見据えた計画的な維持管理

施設の長寿命化を図り、計画的な補修・修繕・改修、予防保全を進めます。

- ・公園スタッフと、本部在籍の建築・設備の専門チームが連携して、施設点検結果をふまえて、公園別長寿命化計画を策定し、東京都と協議の上、計画的な更新を図ります。

##### (iii) **使いやすい** アメニティ向上による快適で居心地の良い空間づくり

園内の日常清掃・定期清掃を行い、常に清潔感のある公園施設を提供します。スタッフ一人ひとりが美化・清掃への意識を高めるよう、定期的にスタッフ全員で管理所周辺の一斉清掃を実施します。

##### ①専門団体と連携した快適性向上と365日トイレ清掃

トイレの管理は365日の清掃に加え、専門会社による特別清掃を全公園で計画的に行います。また（特非）日本トイレ研究所の協力によりトイレ診断等を実施し、快適で利用しやすいトイレ環境を提供します。

##### ②適切な植栽管理による快適性の向上

広場・草地の適切な草刈りにより利用しやすい快適な空間を提供します。また利用頻度の高い広場の周辺や園路際の樹木の下枝の撤去や、伐開を実施することで視認性、見通しを良くし、快適利用を向上させます。



トイレ清掃

## (iv) **品がいい** 美しい里山の風景の保全・創出と景観のトータルマネジメント

利用者の安全や生物多様性に配慮した、計画的な植栽管理を進めるとともに、美しい里山の風景の保全・創出とそれと調和する景観のトータルマネジメントを行います。

### ①ランドスケープマネジメント

狭山丘陵の美しい風景を保全・創出し、また、その風景を活かすためのランドスケープマネジメントを行います。

**NEW** **ランドスケープチェック** :本部のランドスケーププランナー等と連携しながら、富士山の眺望景観や奥行きを感じさせる景観、フォトスポット、また、居心地の良い広場づくりの現場視察・意見交換を行い、植栽管理計画に反映させます。

- ・ **園内サインのトータルデザイン** :園内サインは、公園全体の雰囲気醸し出す重要な要素であるため、デザインを統一化するとともに、清掃の徹底や交換により、美しい状態を保ちます。



トータルデザインによるサインの設置

### ②公園の個性を活かした景観づくりプロジェクト

5公園のそれぞれの特性をふまえた個性ある景観づくりを進めます。

狭山公園	<b>サクラの名所継承プロジェクト</b>	多摩湖・狭山湖周辺及び狭山公園はサクラの名所として親しまれています。しかし、老齢木も多いことから、サクラ更新計画を作成し、都の承認のもと、ボランティアと共に育成していきます。
八国山緑地	<b>里山いやしの小径プロジェクト</b>	散策や健康づくりを目的にウォーキングする利用者が多いことから、里山を歩いて癒されるセラピー効果を高める、楽しいシークエンス景観を創出します。
東大和公園	<b>雑木林の見本づくりプロジェクト</b>	地域団体の運動によって、宅地化を逃れて保全された、都内初の丘陵地公園。環境学習の教材となる空間として、各ゾーンの植生の遷移の特徴を引き出します。
野山北・六道山公園	<b>大展望の広がる景観づくりプロジェクト</b>	都立公園で最も広い面積を有しており、その広大な雑木林を活かし、大展望を楽しめる高台からの眺望景観や雑木林の林床を見せる景観づくりを進めます。
中藤公園	<b>でえだらぼっちの井戸修景プロジェクト</b>	大多羅法師伝説にちなんだ「村山デエダラまつり」が開催されるなど、武蔵村山市の歴史的資源となっている大多羅法師の井戸。周辺の雰囲気醸し出し、お客様を迎える修景を行います。

## (v) **環境に優しい** 生物多様性向上と資源の有効利用等の推進

里山の環境・資源を活かした地球環境保全を進めます。

### ①生物多様性の向上 →4(4) 参照

### ②資源の有効活用

植栽管理で発生した枝葉、間伐材などを積極的にリサイクルするとともに、**里山資源を活かしたライフスタイルを提案**していきます。あわせて、ゴミや廃棄物の縮減、資源の再使用などの3R活動を進めます。

**NEW** 野山北・六道山公園のリサイクルセンターを、**リサイクル拠点「里山リサイクルLABO(仮)」**とし、里山資源を**加工するための機材・設備の充実**や、**普及啓発活動の拠点としての機能を充実**させます。

- ・ 剪定時に発生した枝葉は、そだ柵としての活用や堆肥化などにより園内循環するとともに、都民協働やイベント等で積極的な活用を進めます。
- ・ 管理者としてリサイクル・リデュース・リユースの**3R活動を推進**するほか、エコバック配布やゴミの持ち帰りなど**都民への理解を促進**します。

### ③省エネルギー対策の推進

管理所や園内の省エネルギー化を進め、地球温暖化対策に貢献します。

- ・ 管理所内照明のLED化、発生材を使った薪ストーブ導入を東京都と協議し、進めます。
- ・ **済** 各トイレの照明の人感センサースイッチ化を進めます。
- ・ その他、緑のカーテン、クールビズなどを実施し、総合的に省エネルギー化を進めます。



リサイクルセンター「里山リサイクルLABO(仮)」の活用イメージ



薪ストーブ

緑のカーテン

## 3) 緊急時に対応した施設維持管理

緊急時にも公園施設の機能を確保し、速やかに復旧するため、以下の取組みを行います。

想定すべき緊急時

- 暴風、豪雨、竜巻、地震、洪水、山火事等による落枝、倒木、崖崩れ、広場や園路の浸水、公園施設の損壊
- いたづらによるベンチやトイレ等の破壊
- オーバーユースによるトイレ等施設の利用不能

- 緊急車両が通行できる園路幅や高さの確保 (樹木管理)
- 防災関連施設の定期的な保守点検、動作確認
- 緊急資材の常備 (ブルーシート、カラーコーン、発電機、水中ポンプ、投光器など)
- 緊急時の重機・機材等を代表企業のネットワークにより確保
- 協力会社と災害復旧等に関する協定締結

## (2) 事故及び自然災害、感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応

### 1) 安全対策・発生時の取組み方針

私たちは、**日常の安全点検**をはじめ、**巡回・防災訓練**等といった安全管理・危機管理を徹底し、事故や自然災害・感染症等の未然防止に取り組めます。事故・災害発生時には、各種分野の協力団体（**災害復旧に関する協定を締結**）とともに、安全確保、被害の最小化に向けて全力で対応します。東京都・各自治体・警察・消防等との**連携体制を一層強化**し、利用者や周辺住民、ボランティア、公園スタッフの**誰もが安全に安心してすごせる公園づくり**を行います。

### 2) 具体的な取組

#### (i) 事故への対策

事故を未然に防ぐため、様々な主体・視点による**点検と予防保全**、事故発生のシーン毎に想定した**備えの充実**、各関連機関との**連携・情報共有・普及啓発**を行います。また、利用者の安全を第一とし、東京都への報告、二次被害防止などの対応を着実に実施します。



点検の様子

応急対応セット

#### ①事故を未然に防ぐための安全対策

安全管理に関する継続教育と各種マニュアル・ガイドラインの徹底

- ・園内作業・気象災害時における安全管理マニュアル等を、事故を教訓に強化
- ・策定したマニュアル類の運用徹底、事故事例の共有、スタッフ全体ミーティングや安全会議等での事故予防ワークショップの実施。

点検と予防保全	点検全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>レンジャー巡回</b>：危険箇所・重点点検箇所を明記したハザードマップによるチェック（毎日）</li> <li>・ <b>パークスキャン</b>：本部の専門スタッフと各部署のチーフスタッフによるチェック（年1回）</li> </ul>
	施設毎の点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>公園全般</b>：「公園施設の安全点検に係る指針（案）（H274 国土交通省）」に基づく定期点検</li> <li>・ <b>樹木</b>：「植栽管理マニュアル」に基づいた樹木点検（通行路・見通し・照度確保・越境枝等）、倒木・落枝のおそれのある樹木に対する樹木医による点検・診断（年1回以上）</li> <li>・ <b>遊具</b>：指針に基づいたマニュアルのチェックリストによる目視点検（毎日）。触診・聴診・利用点検等の自主点検（2名以上、月1回）。遊具の構造や点検に関する専門的な知見、技能を有する専門技術者による点検（年2回）</li> <li>・ <b>池など水景施設</b>：ポンプ等設備の点検、水質の定期的な点検</li> </ul>
備えの充実	日常的な備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防署と連携した初期消火訓練、救急救命士による応急手当・AED講習の実施（全スタッフ）</li> <li>・ <b>応急対応セット</b>の携行（事故・災害発生時の応急対応で必要になるテープ、ハサミ等を収納）</li> <li>・ 反社会的勢力対応基本規程に基づく対応</li> </ul>
	特定日・夜間の備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>桜花期・繁忙期の多客時、夏期・年末年始の夜間等</b>：必要に応じ警備会社等による巡回を実施</li> <li>・ <b>イベント時</b>：保健所の指導のもと、イベント時の臨時出店等における食品衛生管理を徹底</li> <li>・ <b>被害発生時</b>：トイレや自動販売機等への破壊行為に対し、警察への速やかな被害報告、迅速な設備復旧を実施。また、再発防止のため警察へのパトロール強化依頼や夜間巡回警備を強化</li> </ul>
	テロへの備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>テロ全般</b>：本部による最新情報の発信や基礎知識、対策研修を実施し、全スタッフの危機管理意識の向上</li> <li>・ <b>大規模テロ</b>：「東京都国民保護計画」（R元年7変更）に基づく、東京都と連携した対応方法の確認</li> <li>・ <b>サイバーテロ</b>：ウイルスチェック等、個人情報、顧客情報等を保存しているサーバー・パソコンの状態を随時確認</li> </ul>
連携情報共有普及啓発		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>全体</b>：東京都や地元自治体、警察や消防など各関連機関との連携強化と連絡体制の整備</li> <li>・ <b>毎日の朝夕礼やチーフ会議</b>：公園スタッフ間での園内施設の状態や事故に関する情報の共有</li> <li>・ <b>ボランティア向け講習</b>：公園で活動する登録ボランティアを対象とした安全管理講習を実施</li> </ul>

#### ②事故発生時から事後の対応

1	負傷者の救助と事故発生現場の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場確認（スタッフは応急対応セット、AED等の救命器具を携帯）</li> <li>・ 負傷者が発生した場合は状態を確認し、救急要請・引継ぎ</li> <li>・ 二次的な事故防止のため、事故発生現場の立入り禁止、使用禁止措置を実施</li> </ul>
2	東京都への報告、本部、関係機関への連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 負傷者の身元、連絡先を確認し、家族等に連絡・状況説明</li> <li>・ 現場検証と目撃者へのヒアリング（いつ・どこで・誰が・どうして・何をした）を実施</li> <li>・ 東京都へ状況報告（第一報は30分以内）、対応完了報告</li> <li>・ 「緊急連絡網」により本部及び関係機関等へ事故の状況を報告</li> </ul>
3	事故原因の究明と再発防止策の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場状況やヒアリング結果に基づき、事故の発生原因を明確化</li> <li>・ 再発防止策を検討、迅速な対応策を実施し、東京都へ報告</li> </ul>
4	関係者内の情報共有と利用者への注意喚起	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故再発防止策について公園及び公園管理関係者で情報共有を徹底</li> <li>・ 必要に応じ、掲示板、HP等で事故に関するお知らせや再発防止のための注意喚起を実施</li> </ul>
5	管理マニュアルの改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故再発防止策を踏まえ、安全・管理に関するマニュアルを速やかに改定および再発防止対策のための注意喚起を実施</li> </ul>

## (ii) 自然災害への対策

首都直下地震をはじめとする地震対策、ゲリラ豪雨や積雪などの気象災害への備えを充実させます。



楽しみながら参加できる防災フェア スタッフ消火訓練

### ①自然災害への備え

首都直下地震等の地震対策	点検と予防 保全・備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都や自治体の定める地域防災計画など上位計画に基づく役割の確認</li> <li>安全対策マニュアルに基づく定期的な参集訓練、通報訓練の実施</li> <li>防災関連施設（防災トイレ等）の日常点検</li> <li>公園管理者として防災に関する知識技術を身に付ける防災学習の実施※</li> <li>IP無線の導入：電話回線網が使用不可の状況を想定し、東京都・本部・関連機関との緊急連絡網構築のため導入</li> </ul>
	連携・情報共有 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>地域防災組織との連携強化</b>：地域住民、地元自治体、社会福祉協議会、警察、消防等と顔の見える関係を構築するため、地域の連絡会などに参加。</li> <li><b>防災イベント・防災訓練の実施</b>：地域防災イベントや「そなえパークの日」など楽しく学べるイベントや訓練を通じた地域防災力の向上※</li> <li><b>防災パンフレットの作成</b>：公園の役割、防災施設の設置場所、使用方法等をわかりやすく記載</li> </ul>
気象災害対策	点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>平常時から側溝や雨水桝などの清掃を強化。過去の災害箇所を確認・周知し気象警報発令時の重点点検箇所として設定</li> </ul>
	備え	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>最新の気象情報の把握</b>：ナウキャスト（気象庁）や緊急速報メール（各自治体）、気象情報提供サービス（民間企業）等を活用し、情報収集を強化</li> <li><b>資材の事前配備</b>：土嚢やビニールシート、丸太材、コーンバーなどの緊急対応のための資材</li> <li><b>積雪時対策</b>：利用動線の除雪と凍結防止処理、必要に応じて利用制限</li> <li><b>スタッフ訓練</b>：利用者に危険が及ぶ気象災害（強風や落雷等）が予測される場合には、マニュアルに基づき注意喚起や安全な場所への避難誘導を実施。東京都と連携を図り、臨機応変に対応</li> </ul>

### ②災害発生時から発災後の対応

※代表企業が管理運営している東京臨海広域防災公園（令和元年10月現在）や構成団体である一般社団法人防災教育普及協会のノウハウを活用

1	災害時の体制への転換、被害状況の確認と利用者の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフの安否確認</li> <li>本部に災害対策本部、野山北・六道山公園に現地対策本部を立上げ統括指揮</li> <li>各管理所に「連絡通報係」「安全点検係」「避難支援係」を設置</li> <li>近隣事務所および近隣に在住する従業員が必要に応じて現地に参集</li> </ul>
2	被害状況の確認と利用者の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内の被害状況、負傷者の有無の確認・応急救護 / 園内の利用者を安全な場所に誘導</li> <li>危険箇所の立入り禁止、使用禁止措置を行い、安全確保を実施</li> <li>テレビ・ラジオ等による情報等の収集</li> </ul>
3	東京都への報告、本部、関係組織への連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>負傷者・被害状況等の情報を整理し、東京都へ報告（第一報、定期報告）</li> <li>「緊急連絡網」により本部及び関係機関等へ被害状況を報告</li> <li>自治体・消防・警察等の関係機関との連絡調整</li> </ul>
4	関係者内の情報共有と利用者への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害状況について公園、公園管理関係者内で情報共有を徹底</li> <li>管理所や掲示板、ホームページ等で災害による被害状況や園内危険箇所への注意喚起を実施</li> <li>必要に応じて安否伝言掲示板の設置</li> <li>園内の利用者へ避難所や物資の配給場所等の情報提供</li> </ul>
※	大地震発生後の被災者等支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動販売機等の飲料水などの物品や、最新情報（地震速報・公共交通機関の運行状況や付近一帯の地図等）の提供により帰宅困難者等を支援</li> <li>近隣の小中学校等が避難所となった場合、東京都や自治体との協議の上、被災者の健康維持や子どもたちの遊び場として広場等を提供。交流の場づくり等、関係者と連携し被災者支援に協力</li> </ul>

## (iii) 感染症への対策

鳥インフルエンザやデング熱、中東呼吸器症候群（MERS）など、感染症拡大を防ぎます。

### ①感染症拡大を未然に防ぐための安全対策

点検と予防 保全・備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生の危険性が高い箇所（トイレや手洗い等）は「東京都感染症マニュアル2018」に基づき、定期的な施設の洗浄・消毒を実施</li> <li>手洗い場に薬用石鹸やアルコール消毒液等を設置し、手洗い奨励の貼り紙等による注意喚起・啓発 / 感染症に関する講習会等に積極的に参加</li> <li>保健所や関係機関等の情報および新聞・テレビ・ラジオ等より情報を収集</li> </ul>
----------------	---



手洗いに洗浄液の設置

### ②感染症発生時から発生後の対応

1	国内での患者発生時	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確な情報入手、公園間で共有し、厚生労働省や東京都と連携して適切な対応を実施</li> <li>従業員は正しい手洗い、うがいを励行するとともに、利用者への呼びかけを徹底</li> <li>利用者、スタッフへの注意喚起や予防啓発（マスク、手洗い等）</li> <li>園内の嘔吐跡や体調不良を訴える利用者があった場合は記録し、必要に応じて東京都・保健所に報告</li> <li>管理所や掲示板、ホームページ等で状況に関する注意喚起を実施</li> <li>東京都や地元自治体等が実施する調査や感染源（蚊など）の駆除、対応策等に全面的に協力</li> <li>感染源の発生箇所になりうる場所の確認と予防対策</li> <li>【デング熱の場合】雨水排水桝、池、水たまり、竹やぶ、湿地、ゴミの多い場所など蚊の発生源マップを作成し、利用者に注意喚起</li> </ul>
2	公園内での患者発生時	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体等が実施する調査や蚊の駆除、対応策等に全面的に協力</li> <li>「長袖・長ズボンの着用、サンダル履きをしない、虫よけ剤を使う」といったチラシ等を設置し、利用者への注意喚起を実施</li> <li>東京都と協議の上、施設利用制限、立ち入り禁止措置を行い、発生の伝播の抑制</li> <li>東京都の指示に従い、薬剤散布の実施 / 被害状況について公園、組織内での情報共有を徹底</li> <li>管理所や掲示板、ホームページ等で状況に関する注意喚起を実施</li> </ul>

### (3) 要望やオリンピック・パラリンピック後を見据えた施設補修、施設改良への取組

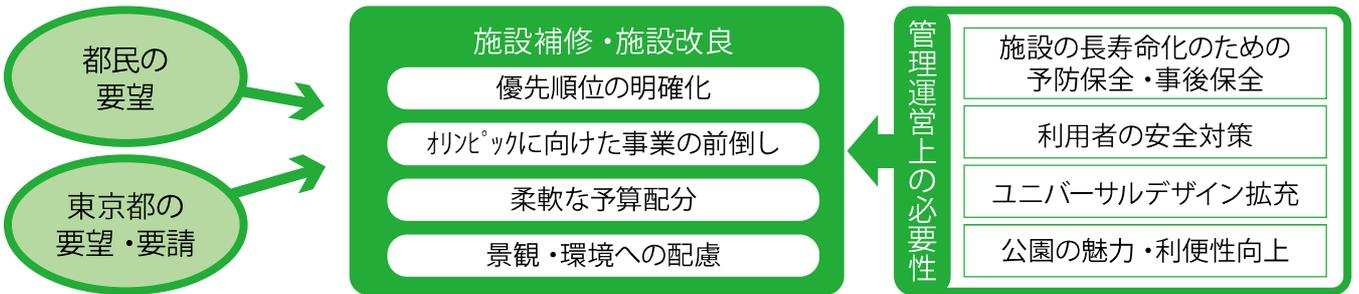
#### 1) 施設補修や施設改良に対する考え方

私たちは、施設補修や施設改良要望について、**広く都民の意見を収集**し、優先順位を判断し、適切かつ迅速な対応を行います。また、都民や東京都からの要望のほか、管理運営上必要な施設補修や施設改良もあることから、利用者の安全確保を第一に、これらを**総合的に判断しながら対応**します。

さらに、必要に応じてオリンピック・パラリンピックに合わせて事業を前倒しするなど、**民間ならではの柔軟な対応**を実施するとともに、周辺の景観と調和し、環境へ配慮した補修・改良により、公園の魅力を持続します。



公園利用者の参加による  
わいわいミーティング



#### 2) 都民や東京都からの要望への対応

都民や東京都からの要望について、以下のフローに基づき、対応します。

##### ① 要望内容等の把握

- 施設補修・改良に関する利用者要望を広く収集します。
- 要望等の内容を良く聞き、目的や理由、要望項目などの内容を具体的に確認し、内容によっては面談や現地立ち会いを行います。
- 必要に応じて専門技術者の見解や現地確認により、その内容を正確に把握します。

##### ② 施設補修・要望内容等の分類

- 上記の要望内容の把握により、施設補修・改良の必要性や優先度を検討し、「利用者の安全に関わる要望」「軽微な修繕の要望」「大規模な修繕の要望」に分類します。
- これまで蓄積してきた意見情報データベースより、利用者意見の傾向をふまえ、施設補修・改良の優先度を精査します。

##### ③ 施設補修・要望内容への対応

- 分類した内容に基づき、下記のとおりに対応します。
- **利用者の安全に関わる要望**  
東京都と連絡・協議し、利用者の安全を第一に考えて迅速に対応します。
  - **軽微な修繕の要望**  
施設の用途や形状変更を伴わない範囲内で迅速に対応します。
  - **大規模な修繕の要望**  
施設に対する質の向上についての改善要望や公園の環境特性に影響を及ぼす大規模な修繕が必要な要望については、誠実に意見を受け止め、東京都と詳細な協議を行い対応します。
  - **ユニバーサルな視点の要望**  
軽微・大規模に関わらず、多様な方の利用を助ける施設の改良(手すりの設置・案内板への点字追加など)に関する要望については、積極的に実施に向けた検討(東京都への提案・協議)を行います。



ユニバーサルサイン  
(狭山公園)



点字ブロック  
(狭山公園)



利用者から改善要望の多かったトイレの改修  
(狭山公園)



##### ④ その後の業務への反映

- 要望等の発生原因を評価検討した上でPDCA サイクルに組み込み、業務を改善します。
- 要望等の内容は、経緯を追跡できるよう管理データベースを作成し、今後の公園整備、管理運営の情報として活用します。

### 3) オリンピック・パラリンピック後を見据えた施設補修や施設改良の対応

2020年に開催されるオリンピック・パラリンピックを契機に公園施設への利用ニーズが高まることが予想されます。国内外から来園する多くのお客様や障がいを持たれたお客様に、都立公園を心から楽しみ満足していただけるよう、東京都と協議の上、施設補修・改良に積極的に取り組みます。

実施公園の凡例：狭 狭山公園 八 八国山緑地 東 東大和公園 野 野山北・六道山公園 全 全公園

#### (i) 誰もが来園しやすい環境を作る、ユニバーサルアップ事業

これまで、車いすやベビーカーで里山を楽しんでもらえる「誰でも里山コース」の設置、点字ブロックの設置、親子連れでも来園しやすい授乳・オムツ替えコーナーの設置などを進めてきました。これらの取組みをさらに発展・拡充させ、誰もが来園しやすい環境を整えます。

<b>誰でも里山コースの充実</b>	これまで、車いすの人でも気軽に楽しめるコースを整備。さらにコースや解説板等を充実させます。	狭野八
<b>トイレの洋式化</b>	これまでトイレの洋式化を進めてきましたが、さらに、和式みのトイレ等に洋式トイレを導入しました。	野
<b>外国語対応サイン</b>	日本語に加え、英語、中国語、韓国語を表記したサインを設置します。	全



誰でも里山コース  
(八国山緑地)



解説板の設置  
(東大和公園)

#### (ii) 拠点施設のおもてなしアップ事業

里山の魅力が詰まった、思わず立ち寄りたくなる拠点施設づくりを進め、四季を通じた里山の魅力を伝えていきます。

<b>温かみのある空間づくり</b>	新ストーブを導入。これを活かして里山循環の大切さを伝えるとともに、お客様を温かく迎える空間を作ります。	野
<b>ミニシアターの設置</b>	外国から来た人にもわかりやすい、狭山丘陵の四季を楽しむミニシアターを導入します。	狭野
<b>野外卓・休憩施設</b>	里山の散策やウォーキングをより楽しんでもらえるよう、休憩施設の増設や改修を進めます。	狭八東野



野外卓・休憩施設  
(狭山公園)



ウォーキングコースの距離表示  
(八国山緑地)

#### (iii) 健康づくりを促進させる、ヘルシーアップ事業

オリンピック・パラリンピック開催に向けて、健康志向の高まりが予想されることから、丘陵地公園でもスポーツを楽しめるコースや、スポーツを楽しむための利便性を高め、市民の健康づくりを支えるヘルシーアップ事業を実施します。

<b>里山いやしの小径</b>	健康増進に寄与する里山散策を楽しめる、里山いやしの小径を整備しました。	八
<b>ウォーキングコース</b>	ウォーキングコースを設定し、案内表示や距離表示などのサインを設置しました。	狭野八
<b>バイクスタンド</b>	マウンテンバイク等の利用が増加しているため、自立できない自転車用の駐輪場を作りました。	狭野



バイクスタンドを設置した駐輪場  
(野山北・六道山公園)

### 4) 資金計画の考え方

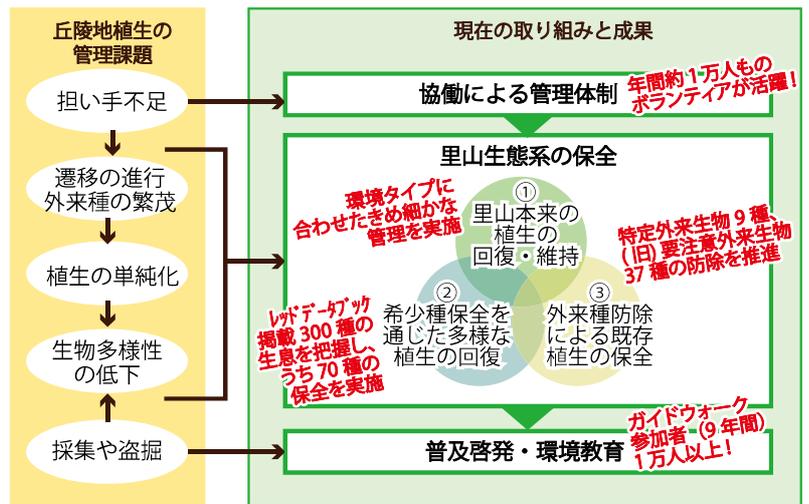
- 原則として、施設補修・修繕費が 30 万円未満のものに対しては、あらかじめ補修のための年間予算として計上した資金（消耗品費等）を活用し補修します。
- 30 万円以上の施設の補修については、「緊急対応等経費」により行います。あらかじめ年間の執行計画を東京都と協議により定め、緊急性の高いものについては柔軟に計画を変更して対応します。
- 施設補修・修繕のための年間予算や、東京都の「緊急対応等経費」を執行した後に、さらに緊急性を要する施設補修・修繕の必要性が出てきた場合は、東京都と協議の上で先行実施を行う等、自己資金により柔軟に対応します。
- 対応が困難な大規模の施設補修・修繕は、都と協議のうえ、整備工事として対応いただきます。
- 日常のこまめな点検、補修などにより施設の長寿命化・予防保全を図ることで、効果的な資金運営を図ります。
- 全国の都市公園の管理運営で培ってきた民間ならではの柔軟なノウハウにより自主事業を実施し、都立公園の役割を踏まえながら収益の拡大を図り、公園の魅力づくりのために収益を還元します。
- 東京都と協議の上、積極的に企業協賛を検討します。

## (4) 丘陵地特性をふまえた植生管理

### 1) 基本的な考え方と留意点

狭山丘陵グループの主たる既存植生は、コナラやクヌギを中心とした雑木林です。これに湿地、畑、草地など、多様な環境が組み合わさり、豊かな生態系が形成されています。しかしながら、樹林は手入れの担い手不足で遷移が進み、草地や湿地では外来種が増加するなど、植生の単純化や生物多様性の低下が課題となっています。

そこで私たちは、**協働による管理体制の構築、希少種の保全・再生**など、先進的かつ多様な事業を展開し、**公園から里山保全をリード**してきました。今後もこれらの取組みを継承・発展させ、**持続可能な社会づくりに貢献する植生管理**を実現していきます。



### 2) 具体的な取組

#### (i) 協働による管理体制の継承・発展

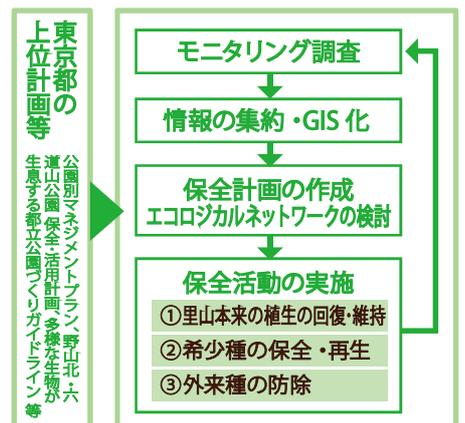
これまで、都民協働によるパークマネジメントにより、里山生態系の保全を進めてきました。今後もこれらの取組みを継続するとともに、狭山丘陵全域で活動する市民団体との強固なネットワークや企業との新たな連携を促進し、より効果的な保全活動を展開します。(3(1) 参照)

#### (ii) 里山生態系の保全

私たちは、東京都の上位計画に基づき、右図のPDCA サイクルによる管理手法の最適化を推進してきました。この手法を継続し、さらにGIS を用いたエコロジカルネットワークの形成に発展させていきます。

##### ①里山本来の植生の回復・維持

東京都の上位計画等に基づき、それぞれの環境タイプに応じた丁寧な管理を行うことで、生物多様性を保全します。



里山生態系保全のPDCA サイクル

区分	基本的な管理	公園特性をふまえた主な取組み	今後の拡充管理
雑木林	林内・林縁	<ul style="list-style-type: none"> <li>狭 野鳥ゆたかな森づくり</li> <li>八 送電線周辺の萌芽更新</li> <li>東 ハルゼミ保全とアカマツ林再生</li> <li>野 協働管理による萌芽更新モデル事業</li> <li>野 野の花小路づくり等による見所創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全 自然とふれあいの場を充実させるための林縁部の重点管理</li> <li>東 実生からのアカマツ林再生プロジェクトの拡充</li> <li>野 ボランティアと協働管理エリアの拡大</li> </ul>
	谷戸部	<ul style="list-style-type: none"> <li>湿地</li> <li>・都民協働による外来種の抜き取り</li> <li>・希少種保全のための選択的除草</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>八 野 掘削による湿地再生エリアの拡大</li> <li>全 希少種保全を通じた湿地再生</li> <li>全 埋土種子の発芽による植生回復</li> </ul>
谷戸部	ため池	<ul style="list-style-type: none"> <li>狭 宅部池のかいぼり</li> <li>八 ふたつ池の環境改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>狭 野 浚渫、かいぼりによる水域の環境改善</li> <li>狭 八 埋土種子の発芽による植生回復</li> </ul>
	小水域	<ul style="list-style-type: none"> <li>狭 都民協働による湧水の池の拡大</li> <li>野 両生類の産卵水域の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野 両生類の産卵場所となる水域の拡大</li> </ul>
	水露	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水流保持のための草刈り、外来種の駆除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野 深みやよどみなど多様な岸際構造の創出</li> </ul>
草地部	草地	<ul style="list-style-type: none"> <li>狭 武蔵野を想起させるスキ原の創出</li> <li>狭 ノジトラノオの生育環境創出</li> <li>野 カヤネズミの生息に配慮した草刈り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全 外来種の花期や結実期をふまえた計画的な防除</li> <li>全 バッターランド面積のさらなる拡充</li> </ul>
	耕地部	<ul style="list-style-type: none"> <li>畑</li> <li>・修景管理、攪乱性の湿性植物の維持</li> <li>・修景管理、高次動物のエサとなるネズミ・モグラ類の生息環境確保</li> <li>庭</li> <li>・修景管理、チョウ類の生息環境創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野 協働による希少植物の調査の実施</li> <li>野 協働による植物調査の実施</li> <li>野 在来種の遺伝的多様性に配慮した園芸植物の選定</li> <li>野 ボランティアと協働による管理の拡充</li> </ul>

## ②希少種保全を通じた多様な植生の回復

東京都及び環境省レッドデータブックに掲載されている種を「希少種」とし、狭山丘陵におけるその保全の緊急度別に保全対策を実施し、様々なタイプの環境・植生を回復してきました。

### ●保全対象となる希少種の拡充

これまで 90 種以上を対象に希少種の保全を行ってきました。今後はさらに「上位性」「希少性」「指標性」「普及性」の 4 つの尺度で種を選定し、保全を進めます。特にキツネ、サシバなどの、複数の環境タイプが組み合わった広い土地を必要とする動物を指標種とし、より大きな環境・植生の回復に取組みます。

### ●回復エリアの拡大

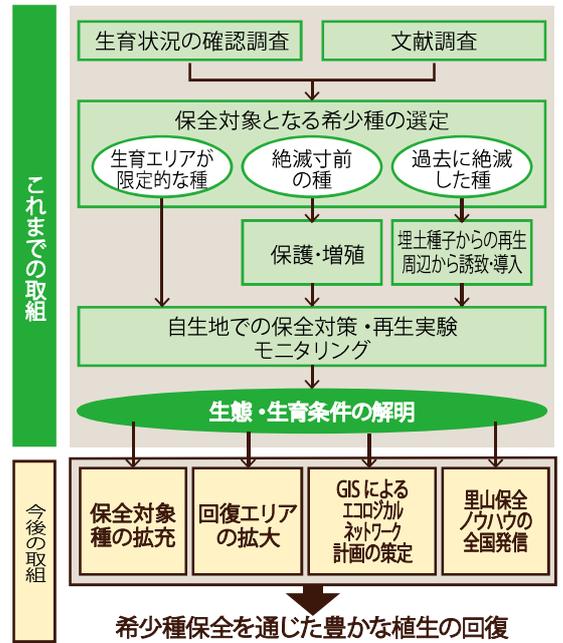
これまでの再生実験結果をふまえ、都民協働により、湿地再生・植生回復の面積を拡大していきます。

### ●GIS によるエコロジカルネットワーク計画の策定

各環境タイプの面積や近隣の緑地との距離、野生生物の移動距離などをGIS で分析し、生息地をつなぐ「エコロジカル・ネットワーク戦略地図」を作成します。例) カヤネズミの個体数を増やすため、イネ科草地の連続性を検討し、新たな草地づくりや適切な管理につなげます。

### ●里山保全ノウハウの全国発信

私たちが蓄積してきたノウハウや解明した生態情報等を、学術論文やガイドライン、ウェブページ等で公開・発信し、全国の里山環境保全に貢献していきます。



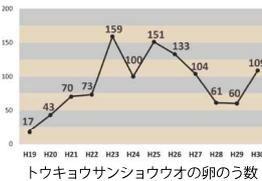
### オオニガナ

生態情報がほとんどないオオニガナ保全のため、自生地の整備、開花調査といった一連の保全・モニタリングを協働で実施。100 株程度の開花を確認している。



### トウキョウサンショウウオ

土砂の堆積による産卵水域の消失を防止するため、土砂の掘削を行い止水域を維持・創出。産卵数は一定の水準を保っている。



### 絶滅種ミズハコベの再生

環境の異なる 4 タイプの実験区を設けて埋土種子の再生実験を行い、絶滅種のミズハコベが復活。



## ③外来種防除による既存植生の保全

外来種は、既存植生の衰退や在来種の遺伝子汚染を引き起こすことが懸念されます。そこで、右図の通り、防除対象の外来種の性質に応じた対策を実施し、既存植生を保全します。

### ●防除対象種の拡充

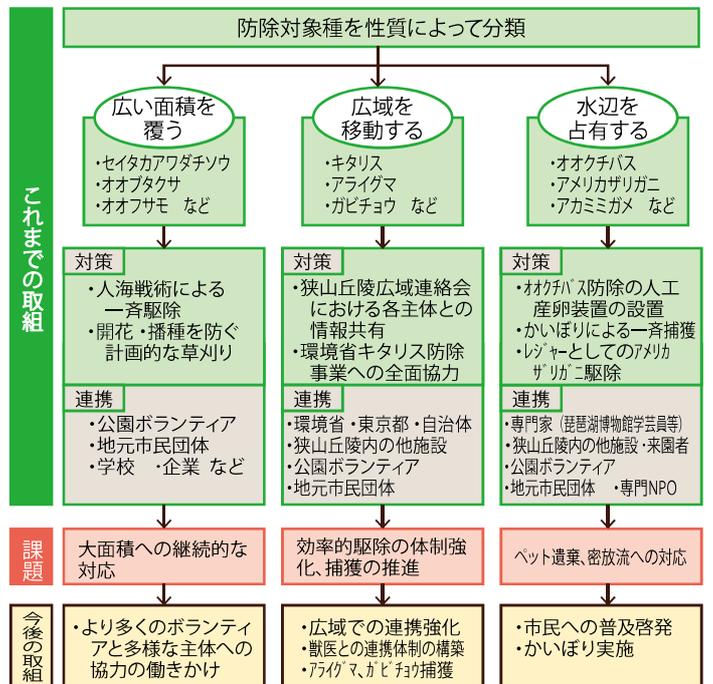
これまで、侵略性の高い特定外来生物 9 種、(旧) 要注意外来生物 37 種の対策を優先的に実施してきました。今後は「生態系被害防止外来種リスト (環境省, 2015)」の掲載種や、アライグマ、ガビチョウなどの対応困難な種も検討に加えていきます。

### ●多様な主体との連携強化

外来種の増減をリアルタイムで把握して迅速に対策できるよう、公園利用者、ボランティア、地元市民団体、専門家など、より多くの主体と協力しながらモニタリングと戦略的な対策を実施していきます。

### ●かいぼりの実施

狭山公園の宅部池、野山北・六道山公園の桜沢・日野出池でかいぼりを実施。今後も東京都と協議の上、かいぼりの実施を検討します。



## (iii) 普及啓発・環境教育

既存植生を適切に管理・保全するためには、利用者の理解と協力が必要です。そのため、乳幼児、幼稚園、小学生、大人など、各世代を網羅した環境教育プログラムを実施します。更に、近隣小学校、中学校、高等学校の生徒を対象とした環境教育の授業をパークレンジャーが講師として対応。その他様々な媒体や機会を通じ、普及啓発と環境教育を継続的に実施します (3 (1) 参照)。



ガイドウォークによる環境教育